

平成 26 年度第 3 回福生市子ども・子育て審議会 会議録要旨

日時・場所	平成 26 年 6 月 30 日（月）午後 2 時～午後 5 時 福生市役所 2 棟 4 階第 2 委員会室
出席者	<委員>福生市子ども子育て審議会 委員 13 名（1 名欠席） <事務局>子ども家庭部長、子ども育成課長、障害福祉課長、健康課長、 子ども育成課長補佐、健康課長補佐
会議次第	1 開会  2 会長あいさつ  3 議 題 （1）平成 26 年度第 1 回子ども・子育て審議会会議録について （2）年度別立川児童相談所相談内容別受理状況について （3）乳幼児全戸訪問事業の実績値及び今後の方向性の数値の変更について （4）福生市子ども・子育て支援事業計画に向けた事業所ヒアリング状況について （5）福生市子ども・子育て支援事業計画の策定方針【素案】について ①次世代育成支援行動計画（後期計画）の評価について ②施策の展開について （6）その他  4 閉 会
議事録（概要）	
事務局	1 開会（14：00）
会長	2 会長挨拶 本日は平成 26 年度 3 回目です。会議を重ね、今までの積み上げをしたものが新たに素案として出てまいりました。さらに意見をいただきまとめてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。
事務局	3 議題 （1）平成 26 年度第 1 回子ども・子育て審議会会議録について 事務局より資料に基づき説明。
会長	ご意見ご質問はありますか。 無いようですので次の議題に移ります。

事務局	(2) 年度別立川児童相談所相談内容別受理状況について 事務局より資料に基づき説明。
会長	ご質問などありますでしょうか。ご意見ありましたらお願いします
委員	子ども家庭支援センターでは、児童相談所までは持っていわずにセンターで相談したり何らかの対応をしたりしたというケースもあると思います。
事務局	資料2につきましては、子ども家庭支援センターを介した件数なので、その中には子ども家庭支援センターの相談も実績に入っています。
会長	よろしいでしょうか。 ありがとうございました。他にご質問、ご意見はございますか。なければ次の議題に移ります。
事務局	(3) 乳幼児全戸訪問事業の実績値及び今後の方向性の数値の変更について 事務局より資料に基づき説明。
会長	ありがとうございました。数値の変更になりますが、ご意見、ご質問はございますか。この資料の数値としてご了承いただけますでしょうか。 ありがとうございました。議題3はこれで終わります。
事務局	(4) 福生市子ども・子育て支援事業計画に向けた事業所ヒアリング状況について 事務局より資料に基づき説明。
会長	ありがとうございました。何かご質問、ご意見ありましたらご発言お願いします。次回詳細が出るということなので、ご了承いただければよろしいでしょうか。 特にないようですので、次の議題にまいります。
事務局	(5) 子ども・子育て支援事業計画の策定方針（素案）について 事務局より資料に基づき説明。
会長	基本目標と施策の展開ということで素案についてご説明いただきました。この素案の基になるのが、平成 25 年度福生市次世代育成支援行動計画（後期計画）進捗状況結果（資料6）の評価です。ここに掲げている当該課、所管の方々がA B C D評価をしたものをこちらに転記した評価であり、これを踏まえた上で次のことが出てくるのではないかと思います。 この評価について、委員の皆様には、素朴な疑問で、この部分はどう読めばよいのかというご意見などありましたら伺いたいと思います。また、評価の仕方、評価はA評価が何パーセントということで評価基準が設けられていますので、そのように考えたときにこのことはどうなのかという点などもあるかと思えます。気になるところがありましたら、その点をお願いします。

委員	<p>最初の42ページ、目標1で「主な取り組みとして」という点で「ファミリー・サポート・センター」が子ども家庭支援センター内に開設され、地域の中で助け合いながら子育て支援に努めています。とあって、「子育て支援カード」を発行し、子育て家庭を地域で応援しています。とあって、「ふっさっ子の広場」は、平成19年度にモデル校として福生第六小学校で開設され、現在は市内全7小学校で実施され、小学生の新たな居場所となっています。とありますが、まさにその通りだと思います。</p> <p>ところが、実際に学校で子どもたちと触れ合い、それぞれの保護者の方たちと出会っていると、地域に溶け込めない親、家庭もあります。そういった孤立した感覚を持った家庭こそが支援が必要なのですが、そういったところの支援はなかなか入りません。支援してほしいと言わないし、この辺りが、どのように入り込んでいくかがとても大事な視点です。</p> <p>「子どもの豊かな人間形成を支えるまちづくり」評価も、「家庭、地域の教育力を高め、学校教育の充実を図ってきました」、また「豊かな人間性や社会性を培い、確実な学力を身につけることが大切であるため、各学校は特色ある教育課程を編成・実施し、開かれた学校づくりに取り組んできました」とあります。ですが、地域と一体感を持って進んでいるという実感は、学校として弱いと思います。いろいろな意味でもっと地域に開かれていかななくてはいけないと思いました。地域の核としての学校、地域に支えていただく学校という両面の姿があって、その辺りを考えると単純に「今十分にA評価だ」とは言えないと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>このような全体の子育て事業支援事業計画を策定するとき、評価と課題を踏まえた上での施策とすると、何がどのように進展したのかが見えてくると思います。</p>
委員	<p>書き方として「今後は」という点で、そのような意識はわかってくださっているというのはあって、「地域全体で子どもを育てていくという意識を醸成し」という言葉は大変よいと思います。42ページについても「今後は、家庭環境等の変化により多様化する相談に応えられるよう、情報提供及び相談業務の充実を図っていく」という文言があります。具体的な方策としてどのようなことを考えるのか、ただ、「やってきました」「できました」と書かれると、そうなのかという思いはあります。まだ十分でないという思いは持っています。</p>
会長	<p>このような課題があるということ「取り組んできましたが、このような点が課題として残されています」という点が、まだ充分でないという点も取り入れた上で、今後の施策の方向性をだせば、全体としての意味合いも変わってくるかと思えます。</p> <p>文言のところで「ソーシャル・インクルージョン」というのはどのような意味で使っていらっしゃるのでしょうか。今、インクルージョンは障害教育あるいは障害関係に関しては、人権問題も含めて「インクルージョン」という言葉が使われていると認識していますが、「ソーシャル・インクルージョンの視点を持った」</p>

	<p>という点はどのような意味で捉えればよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ソーシャル・インクルージョンの定義ですが、すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支えあうということです。</p>
会長	<p>その意味合いを用語解説に記載して下さい。切れ目がないということはプツリと切れてはいけないということになります。その視点を持った切れ目のない支援をしていくためにはどのようにしたらよいのかということが、基本的な考え方や施策との関係につながってくるということにもなります。</p> <p>この評価で気になった点を述べさせていただきます。</p> <p>いつ・どこで・何がということが書いていないところがあったと思います。そのようなところは、もう一度評価していただきたいと思いました。</p> <p>また事業計画の素案ですが、言葉の使い方として、「増加」としているところが随分あります。70ページだと、成果指標で現状が83.3パーセント、方向として「増加」ということは高めていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>「増加」の表記につきましては、前回の推計を上回るという解釈で使っています。</p>
会長	<p>71ページの下の方の9番目のところですが、3歳児経過観察健康診査（子どもグループ）ですが、対象のところ「小集団活動により、成長発達が期待できる親子」となっています。「小集団活動に参加する親子」などの言い方が気になります。</p>
委員	<p>その親子をどのような形で支援したら成長できるかということで、小集団活動をすることで成長できるという人にはこのような活動を進めています。</p>
会長	<p>他の部分は「子育て中の保護者」とか、「児童・生徒」「乳幼児」と書いてあります。これは「小集団活動に参加する親子」ではいけませんか。</p>
事務局	<p>発達が緩やかなお子さんを特に対象としていますので、心理士や保育士が関わり方を指導することで成長・発達することが期待できる親子としております。</p>
会長	<p>「適切な指導を行います」と書いてありますので、対象者は、幼児がグループで遊ぶことで成長発達が期待できる親子となりますが、期待できない親子は参加してはいけないのでしょうか。</p>
委員	<p>現場では、おそらくお子さんに集団であるのがよいのか、それとも個別の指導よいのか、それは専門職が判断していくのですが、確かに一般に出る文章でこれをそのまま書くと、誤解を生じるということは確かにあると思います。</p>
会長	<p>73ページの8番と9番が「経過観察が必要とされた児」とありますが、「児童」とかではなく、乳幼児ではないかと思います。「乳幼児」でよろしいですか。ではこの部分は「乳幼児」とさせていただきます。</p>

委員	<p>75 ページの 1 番の対象のところが「義務教育就学前の児童を養育している方」となっていますが、これは保護者ですか。他は「保護者」という言葉が割と使われていますが、ここはこの書き方でよいのでしょうか。</p> <p>保護者とは限らないということです。養育している方が「保護者」という書き方をしていません。</p>
会長	<p>89 ページの 1 番目は「1 歳未満の児童」という言葉は使っていますか。乳児でよろしいですか。</p>
委員	<p>児童福祉法でいうとすべて児童ですが、冊子の中でいろいろな定義を使うと混乱してしまいます。母子保健では、乳児です。</p>
会長	<p>児童福祉法は 0 歳から 18 歳を「児童」といいます。法律によって違ってきますが、その辺りは統一していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>市民の方にわかりやすい言葉にしたいと思います。</p>
会長	<p>今までいただいたアンケート調査結果や自由意見もあったと思いますが、そういった意見を今度出していただければよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>本日、終わりましたら、目標や施策について、この中に新たに加える課題、項目がありましたらメールを配信しますので、提案をいただきたいと思います。</p>
会長	<p>7 月 18 日頃までですね。配信されてきたメールに意見があれば、返信することです。ご協力よろしくお願ひします。</p> <p>じっくり読んでみないとなかなかよくわからないこと、了解しにくいことがあるかと思いますが時間をいただきながらになります。ご意見がありましたら次回の会議の 10 日前、7 月 18 日ごろまでに届くようにしていただきたいという事務局のお願いです。</p>
事務局	<p>先ほど、会長から事業の記載について指摘されていますので、それらを精査していきたいと思います。</p>
会長	<p>実際にはいろいろ実施していると思います。記載事項、文章として作成されたときに抜けているように思います。</p> <p>いつ・どこで・誰が・どうしたということが抜けているのは重要な情報だと思いますので、それを入れていただければわかると思います。</p>
事務局	<p>(6) その他</p>
会長	<p>次の会議の日程をお願いします。</p>

事務局	<p>次回の審議会の日程について報告いたします。次回は7月28日午後2時からの開催で、場所は本庁舎第2棟4階第1委員会室を予定しています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他に何かご意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>安全安心のことやいろいろなことを、最近、学校で課題として考えなくてはなりません。いろいろな人に集まっていただいて、いろいろなお話を聞いています。子どもの育ち、子どもが育っていく福生、子どもという存在に対して、市民全体がどのような意識を持つのかという視点を持って、そこに働きかける施策が市として必要ではないかと感じているところです。</p> <p>そのあたりはすごく大きく、そういった視点が大事だと思います。</p>
会長	<p>47ページの計画の基本的な考え方に、「子どもの育ちと子育ての喜びを実感できるまち」といった標語を掲げています。地域の中で、地域がまちを築いていく、人が家庭を、家庭が地域を、としているところにこの良さが出ていると思います。ここに掲げていることが福生のよいところで、アンケート調査でも「地域の人に、子どものことについて声をかけてもらいたい」というニーズもありました。皆がそうなってもらいたい、このまちが好き、夢かなうというのは、自分もこのまちに住んでいて、子どもの声を聞いて、自分も元気になれるということだと思います。</p> <p>その他ご意見よろしいでしょうか。</p>
会長	<p>4 閉会 以上を持ちまして平成26年度第3回福生市子ども・子育て審議会を終了します。</p>